

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北本市における下水道整備計画2020（防災・安全）															
計画の期間	令和02年度　～　令和06年度　（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	北本市															
計画の目標	下水道整備を行うことで、安心で安全な災害に強いまちを創造する。															
	下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の継続的な維持管理を行う。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		84	A	84	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	污水管きよの耐震対策へ向けた耐震診断実施延長を5.1km(R2)から11.5km(R6)に増加させる。			
	污水管きよの耐震診断実施率	0%	50%	100%
	本整備計画の期間内に耐震診断を完了した管きよの延長（km）／本整備計画の期間内に耐震診断を実施すべき管きよの延長（6.4km）			
2	中丸中継ポンプ場の改築更新実施率を0%(R2)から100%(R6)に増加させる。			
	中丸中継ポンプ場の改築更新実施率	0%	0%	100%
	本整備計画の期間内に改築更新を完了した施設課所数（箇所）／本整備計画の期間において改築更新が必要とされる施設箇所数（1箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北本市	直接	北本市	管渠（ 汚水）	改築	汚水管きょ耐震化事業	汚水管きょ耐震診断実施 L=6,400m	北本市	■	■	■	■	■	48		策定済
	A07-002	総合地震対策計画																	
		下水道	一般	北本市	直接	北本市	ポンプ 場	改築	中丸中継ポンプ場改築工事	ポンプ場改築N=1箇所	北本市		■	■	■		36		策定済
	ストックマネジメント計画																		
											小計						84		
											合計						84		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
北本市下水道事業審議会において、事後評価を実施。	令和7年12月
	公表の方法
	市のホームページへ掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・中丸中継ポンプ場における改築更新が必要とされる施設として直流電源装置（1箇所）の改築更新を実施した。 ・前期整備計画で概ね主要幹線の耐震診断をし、耐震対策工事を優先的に行いました。次期整備計画において、引き続き耐震診断を実施することとした。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
中丸中継ポンプ場において、改築更新が必要とされる施設としてポンプ3台及び自動除塵装置の改築更新を実施する。また、北本市下水道総合地震対策計画において、中期対策路線に位置付けられた管路施設について耐震診断を実施していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	汚水管きよの耐震診断率		
	最 終 目標値	100%	前期整備計画で概ね主要幹線の耐震診断をし、耐震対策工事を優先的に行いました。次期整備計画において、引き続き耐震診断を実施することとした。
	最 終 実績値	0%	
2	中丸中継ポンプ場の改築更新実施率		
	最 終 目標値	100%	ポンプ場施設である直流電源装置（1箇所）の改築更新を実施した。
	最 終 実績値	100%	

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

